症例44　不眠

患　　者：高○，男性，40 歳，幹部
主　　訴：不眠，３年
現 病 歴：３年来の不眠。このところ連日深夜まで会議が続いて，病状がいっそう悪化した。かつて神経衰弱状態になったことがある。心煩・入睡困難・一睡もできないときがある・眠りが浅く多夢・昼間は頭がボーッとする・動悸・口渇・咽乾・食欲不振・便秘・小便短赤・るい痩。
舌　　診：舌紅・苔薄黄
脈　　診：弦細数

定　　位：心とする。患者の主訴は不眠であり，これは心神の病証に属する。
定　　性：陰虚とする。心煩・口渇・咽乾・便秘・尿黄・るい痩・舌紅・脈細数などは陰虚内熱による。陰が不足し陽を制することができず，陽熱が内擾した結果，動悸・不眠・多夢などの症状が現れる。
弁　　証：心陰虚・心神不寧
治　　法：養陰・寧心・安神
方　　剤：①天王補心丹＋酸棗仁湯
②太子参８ｇ，丹参５ｇ，酸棗仁 10 ｇ，柏子仁５ｇ，玄参３ｇ，麦冬３ｇ，生地黄３ｇ，珍珠母 10 ｇ，炙遠志３ｇ，茯苓５ｇ，竜骨 10 ｇ，牡蛎 10 ｇ
方　　意：②は天王補心丹加減の処方である。
丹参・玄参・麦冬・生地黄……滋陰養血
太子参・酸棗仁・柏子仁・遠志・茯苓・珍珠母・竜骨・牡蛎……養心安神
全体として滋陰養心安神などの作用があると考えられる。
注意事項：辛い食物は控える。禁酒。寝る前に茶を飲まない。毎晩，温かい湯で足を洗うこと。